

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会

■ 日 時 令和6年3月7日(木) 午後2時～午後3時20分

■ 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
鳥取県西部医師会館 米子市久米町

■ 出席者 29人

○鳥取県健康会館（鳥取県医師会館）：渡辺部会長

皆川・杉本・松田各委員

〈オブザーバー〉

健対協：岡田・秋藤各理事

鳥取県福祉保健部健康医療局：坂本局長

鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課：山崎課長、山根室長、上田課長補佐

健対協事務局：岡本事務局長、岩垣次長、田中主任、廣瀬主事

鳥取市保健所健康・子育て推進課健診推進室 由木 主幹

岩美町健康福祉課健康増進係 松本 主任保健師

智頭町役場福祉課 森下 課長補佐

八頭町保健課 田中 主任保健師

○鳥取県中部医師会館

〈オブザーバー〉

倉吉市健康福祉部健康推進課健康増進係 小林 保健師

○鳥取県西部医師会館：磯本・中村・八島・濱本・孝田各委員

〈オブザーバー〉

米子市福祉保健部健康対策課 宇佐見 係長

米子市市民生活部保険年金課健康推進室 廣田 係長

西部総合事務所米子保健所健康支援総務課健康長寿担当 柴田 課長補佐

西部総合事務所米子保健所健康支援総務課健康長寿担当 石津 副医長

西部総合事務所米子保健所健康支援総務課健康長寿担当 坂本 保健師

【概要】

・胃がん検診は、令和4年度の受診率は26.2%（前年度比0.7ポイント減少）。胃がん検診における内視鏡検査の実施割合は84.0%で、年々増加している。X線検査の集団検診の要精検率は6.6%であった。

・子宮がん検診は、令和4年度は受診率24.9%、要精検率1.16%、精検受診率80.9%。がん発見率0.02%、陽性反応適中度1.7%であった。精検受診率は国の許容値70%以上は上回るものの、目標値90%以上には届いていない状況である。また、要

精検率は許容値を満たしているが、がん発見率、陽性反応適中度はいずれも国の許容値に届いていない状況である。

- ・ 肺がん検診は、令和4年度は、受診率29.4%、要精検率3.38%、精検受診率88.0%で、原発性肺がんは37人発見され、がん発見率0.07%、陽性反応適中度2.1%であった。
- ・ 乳がん検診は、令和4年度は、受診率15.5%（前年度比0.7ポイント減少）。
- ・ 大腸がん検診は、令和4年度は受診率29.0%、要精検率7.1%、精検受診率は75.6%、がん発見率0.22%、陽性反応適中度3.15%であった。受診率及び精検受診率がコロナ前まで戻っていないため、受診率向上の取り組みが必要である。
- ・ 肝臓がん検診は、令和4年度肝炎ウイルス検査は、対象者数210,599人、受診者数は3,999人、受検率は1.9%（前年度比0.3ポイント減少）。精検受診者は24人であり、精検受診率は55.8%（前年度比1.6ポイント減）であった。精検の結果、肝臓がんは発見されなかった。
- ・ 新たなプロセス指標の基準値等が示されたことを踏まえ、上限69歳、上限74歳など、いずれの指標を用いるか検討するため、令和3年度と令和4年度の県集計の要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応的中度を算定し検討した。

挨拶（要旨）

〈渡辺部会長〉

新型コロナウイルスもようやく落ち着きが見られ、東・中・西部各地区とも注意レベルも解除された。能登半島の震災に関しては、県医師会としても2月末までにJMATを11班派遣完了している。また3月中にも県医師会職員が交代で、石川へ支援に入る予定となっている。石川県において

も生活が徐々に戻り、健康管理が進んでいくことを願っている。本日は、各部会・委員会が終了し、検討事項も出ており、来年度の対策に繋がる議論をお願いする。限られた時間ではあるが、忌憚のないご意見をお願いしたい。

報告事項

1. 令和4年度各種健康診査実績等について：

山根県健康政策課がん・生活習慣病対策室室長

○平成24年度からの推移を見ていくと、いずれのがん検診も受診者数が少しずつ増加しているが、令和2年度はすべての部位において受診者数、受診率ともに減少した。令和3年度はすべての検診で増加したが、令和4年度は再度、すべての検診で減少した。

年齢階級別にみると、男性よりも女性の方が受診者数が高く、70歳以上の受診者数が高い。

○令和4年度各がん検診のプロセス指標と市町村の実績値との比較では、受診率は、西部が少し低い。精検受診率では、乳がんが95.3%となっており、唯一、許容値を上回っている。がん発見率は子宮がん以外は許容値を越えていた。

○要精検者のうち、精検受診の有無がわからない者及び（精検を受診したとしても）精検結果が正確に把握できていない者の精検未把握率は、国の許容値は10%以下である。

2. 各部会・専門委員会の協議概要について：

各部長・専門委員長及び山根健康政策課がん・生活習慣病対策室室長

令和4年度各種健康診査実績等、令和5年度実績見込み、令和6年度事業計画は、別表のとおり報告があった。

また、各部会・各専門委員会の主な協議事項は以下のとおりであった。

（1）胃がん部会・胃がん対策専門委員会

○令和4年度の受診率は26.2%（前年度比0.7ポイント減少）。胃がん検診における内視鏡検査の実施割合は84.0%で、年々増加している。X線検査の集団検診の要精検率は6.6%であった。

○令和4年度胃がん検診発見がん患者確定調査最終結果報告にて確定胃癌は165例（一次検査がX線検査：16例、一次検査が内視鏡検査：115例）。癌発見率は0.347%（東部0.342%、中部0.417%、西部0.320%）であった。

○今後の市町村胃がん検診実施体制（対象年齢、受診間隔）について、50歳以上は毎年で40歳～49歳は隔年とし、胃X線検査では、40歳以上は毎年で40歳～49歳でピロリ菌検査を1回実施する案など、対象年齢・受診間隔等について協議を行った。今後は各地区医師会や市町村への説明や協力依頼が必要。令和7年度以降に実施できるよう準備する。

○胃X線検診のための読影判定区分（対策型）の категорияが改正されたため、県の胃がん検診実施に係る手引を改正する。

（2）子宮がん部会・子宮がん対策専門委員会

○令和4年度は受診率24.9%、要精検率1.16%、精検受診率80.9%。がん発見率0.02%、陽性反応適中度1.7%であった。精検受診率は国の許容値70%以上は上回るものの、目標値90%以上には届いていない状況である。また、要精検率は許容値を満たしているが、がん発見率、陽性反応適中度はいずれも国の許容値に届いていない状況である。

○子宮がん検診受診者30,310人中、体部がん検診対象者数は1,227人、受診者の合計は1,154人、受診率は94.1%であった。一次検診の結果、要精検となった者25人、要精検率2.54%、精密検査受診者数は20人で、精密検査受診率80.0%であった。精検の結果、子宮体部がんが6人発見され、がん発見率は0.61%、陽性反応適中度24.0%であった。子宮内膜増殖症は3人であった。

（3）肺がん部会・肺がん対策専門委員会

○令和4年度は、受診率29.4%、要精検率3.38%、精検受診率88.0%で、原発性肺がんは37人発見され、がん発見率0.07%、陽性反応適中度2.1%であった。

要精検率は（許容値3.0%以下）、がん発見率（許容値0.03%以上）は許容値を上回り、陽性反応適中度は許容値も（許容値1.3%以上）を上回っている。

（4）乳がん部会・乳がん対策専門委員会

○令和4年度は、受診率15.5%（前年度比0.7ポイント減少）。要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度において国が示す許容値を満たしており、精度は保たれていると考えられる。

○令和4年度の乳癌確定症例は72例であった。前年度の80例に比較して減少していた。境港市での発見症例が非常に増加していた。

○乳がん検診実施に係る手引き改正について、B2以上をB以上の資格と改正する。

○3D撮影は被ばく量が2Dに比較して多いと思われる受診者への説明が不十分と思われること、読影できる資格がなく評価対象でないこと、精度管理が難しいことが問題である。他県の状況を見つつ調整していく。不公平感が生じるため、行政として統一すべきとの意見もあった。

（5）大腸がん部会・大腸がん対策専門委員会

○令和4年度は受診率29.0%、要精検率7.1%、精検受診率は75.6%、がん発見率0.22%、陽性反応適中度3.15%であった。受診率及び精検受診率がコロナ前まで戻っていないため、受診率向上の取り組みが必要である。

○検診で発見された大腸がん及びがん疑い129例について確定調査を行った結果、確定癌121例（地域検診34例、施設検診87例）、腺腫1例、その他7例であった。

○ロボット手術は内視鏡下手術に計上することとし、内数でロボット手術件数が把握できるようにする。

○精密検査医療機関登録の対象となる講習会の点数が、1点の講習会は全て2点に変更する。

（6）肝臓がん対策専門委員会

○令和4年度肝炎ウイルス検査は、対象者数210,599人、受診者数は3,999人、受診率は1.9%

(前年度比0.3ポイント減少)。精検受診者は24人であり、精検受診率は55.8% (前年度比1.6ポイント減) であった。精検の結果、肝臓がんは発見されなかった。

○肝臓がん検診により発見された肝炎ウイルス陽性者に対しての定期検査により発見された肝臓がんは、B型肝炎ウイルス陽性者から4名、C型肝炎ウイルス陽性者から3名であった。

○FIB3インデックスとFIB4インデックスを比較すると、FIB4には年齢が含まれるため、肝機能に問題ない場合でも高リスクに分類されることがあることが課題。

○FIB3による拾い上げはFIB4に比べてより肝疾患特異的であると考えられる。今後、FIB3によるリスク分類も行い、データを蓄積する。

○平成7～令和2年度肝臓がん検診発見がん患者及び平成10～令和2年度定期検査確定がん患者の追跡調査が今年度出来ていない。時期をずらしても毎年実施し報告する。

(7) 循環器疾患等部会・生活習慣病対策専門委員会

○令和4年度の特設検診について、前年度や新型コロナウイルス感染症流行以前の令和元年度と比較しても、健診受診率、特定保健指導の実施率は増加しており、過去5年間で最高値であった。

○今年度の厚生労働省事業「脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業」に、鳥取大学医学部附属病院が採択された。当該病院に設置された脳卒中・心臓病等総合支援センターが主体となり、相談体制を確立しながら普及啓発活動を行っている。令和6年度以降も継続実施できるよう、新規事業として県が予算化する。(財源は国1/2、県1/2)

(委員からの意見)

・中村委員から、今後新しいプロセス指標では、一律で精検受診率が90%が新しい目標となり、高い目標値が示されたが、鳥取県としてどの様に対応するか。また、HPV検査の陽性率はど

の程度かと質問があった。

→HPV検査の陽性率について、皆川委員から、8～10%程との回答があった。

→プロセス指標について、県から、指標は今後意見をいただきつつ検討していく。また数字だけでない取り組みも工夫を検討していると回答があった。

→中村委員から、各がん毎に特徴もあるため、各がん毎の取り組みで精検受診率を上げることも必要であるとの意見があった。

3. 各種プラン・計画の見直しについて：

山崎県健康政策課長

平成20年度から定められた「鳥取県がん対策推進計画」の第3次計画が今年度で終期を迎えることから第4次計画を策定している。改訂のポイントとしては、がんの75歳未満年齢調整死亡率は、2年連続で、現行計画の目標(70.0)を達成して改善傾向であるため、次期計画では、さらに高い目標を掲げ、全国上位を目指す(R4死亡率は73.7で、R3の68.1より増加したが、増減を繰り返しながら、着実に減少してきている)。

全体目標(案)は、下記の通りである。

1. がんによる死亡者の減少

75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万対)を61.0未満とする。

(男女別の目標値 男性：74.0未満 女性：46.0 未満)

2. がんになっても自分らしく生きることのできるがんとの共生社会を実現する。

鳥取県肝炎対策推進計画について、平成30年度から「鳥取県肝炎対策推進計画(第2次)」を策定し、各種肝炎予防及び肝炎医療対策に関する取組を推進しているが、今年度で終期を迎えることから、第3次計画(期間：令和6～11年度)の策定を進めている。

改定のポイントは、下記の通りである。

○直近の実態調査の結果等を踏まえ、数値目標の達成状況に応じて目標値を再設定する。

○「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」の一

部改正を踏まえた内容とする。

鳥取県循環器病対策推進計画について、脳卒中・心血管疾患対策共通項目として、急性期医療では画像診断システム（JOIN）の導入検討について記載している。従来のおしどりネットの活用についても「回復期・維持期」に記載している。その他、今後育成すべき医療人材や、第1期計画策定以降に実施している事業についても記載している。個別項目としては、脳卒中は脳卒中相談窓口の開設状況、心血管疾患は小児循環器診療、成人先天性疾患診療についての項目を新たに設定した。

糖尿病については、細かく分析・評価しながら各ステージに必要な施策を検討・推進できるように評価指標を追加した。具体的な取り組みとして、地域で糖尿病を適切に管理・治療できる体制強化のため、歯周病の治療、治療中断者へのフォロー等も医療機関連携の取り組みに含むことを明記した。

CKDについては、課題別対策として新たに次期保健医療計画に掲載されることとなった。CKDは、早期発見・治療や生活習慣の改善により進行が抑えられることから、正しい知識の普及や特定健診の受診率向上を図ることで新規患者の減少、重症化予防に努める。また、CKD発症・重症化予防実施により、新規透析患者数の減少を図る。

4. その他

- ・令和4年がんの75歳未満年齢調整死亡率について：山崎県健康政策課長

国立がん研究センターが令和4年の75歳未満がん年齢調整死亡率を公表した。

鳥取県の男女計の死亡率は、男女計73.7（全国41位）、男性89.2（全国38位）、女性59.4（全国40位）であった。

- ・県の来年度当初予算について：

山崎県健康政策課長

がん対策推進事業の令和6年度予算案について報告した。ほぼ例年どおりの予算を計上している

が、安心して暮らせる社会づくり（患者支援）事業の中の、医療用ウィッグ・補正下着等の購入費用の助成で、令和5年度より助成上限額を2万円から5万円に引き上げたことにより、令和5年度実績が増加する見込みであり、令和6年度はそれを踏まえ増額している。

協議事項

1. プロセス指標の基準値改定について：

山崎県健康政策課長

新たなプロセス指標の基準値等が示されたことを踏まえ、上限69歳、上限74歳など、いずれの指標を用いるか検討するため、令和3年度と令和4年度の県集計の要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応的中度を算定し検討した。

各部位については下記の通りである。

〈胃がん部会〉

○高齢での罹患が多い部位なので、「上限74歳」でよいように思うが、「上限69歳」「上限74歳」の両方を示すもの可能である。もう少し整理した方がいいとの意見があった。夏部会に向けて引き続き検討する。

〈大腸がん部会〉

○基準値は「上限74歳」とすることについて了解された。令和5年度検診実績の報告のときは、これまでの報告内容は継続し、新たな指標で集計した県計値のページを追加する。

〈肺がん部会〉

○肺がんは、平均の罹患年齢が70歳くらいなので、上限69歳のがんの者は、74歳の半分以上で全体が見えなくなる。上限74歳の要精検率は、上限69歳より緩やかな基準となっている。

○高齢者の方も多く受診されているので、上限74歳の方が実態に合っていると考えられる。

○「検診以外の受診を考慮」の基準は必要である。

〈乳がん部会〉

○74歳以上の方も多く受診しており、74歳以上の方が検診の実態を表している。これまでの継続

性も考え、「上限74歳」で数値を見ていき、何かあれば検討するということにすることで了承された。また、実態を踏まえ、「連続受診を考慮」の基準値で見えていく。

- 令和5年度検診実績の報告のときは、これまでの報告内容は継続し、新たな指標で集計した県計値のページを追加する。

〈子宮がん部会〉

- 子宮がんは、対象となる年齢の幅が広く、対象集団における平均的ながん罹患リスクを1つに設定することが難しいため、年齢階級が、他の部位より細かく、3区分（20-74（69）歳、20-39歳、40-74（69）歳）とされたため、上限69歳と上限74歳の差異はあまり見られない、今後も検討することとした。

- 令和5年度検診実績の報告のときは、これまでの報告内容は継続し、新たな指標で集計した県計値のページを追加する。

（委員からの意見）

- ・中村委員から、新しいプロセス指標の基準値の対象年齢について、胃がんのみ50歳以上となっ

ていることについて質問があった。

→磯本委員からピロリ菌感染が減ってきていること等のためもあるかもしれないとの回答があった。

→中村先生から、年代によって検診を受けなくて良いということにならないようにすること、また、年代別の対策も必要かもしれないという意見があった。

→他県の動向について情報収集し、夏部会で報告して、引き続き検討することとなった。

2. 各がん検診従事者講習会及び症例検討会の開催方法について：岡田理事

令和5年度は参集で開催した。今年度は、肝臓がんは鳥取県医学会との合同開催を行い、受講者も多かった。よって来年度は、令和6年6月30日に開催予定の鳥取県医学会と大腸がんを合同開催する。現在講師の選定を行っている。循環器についても、一般向けの講演会と多職種連携の講演会を各1回開催した。来年度も開催予定である。なお、健対協の点数等はない。

令和4年度実績、令和5年度実績（中間）、令和6年度計画について

（単位：人　％）

区　　分		国指標	令和4年度実績	令和5年度実績見込	令和6年度計画
胃 が ん 検 診	対　象　者　数（人）		181,414	181,414	181,414
	受診者	X線検査（人・率）	7,579（4.2）	8,481（4.7）	8,561（4.7）
		内視鏡検査（人・率）	39,920（22.0）	42,114（23.2）	42,812（23.6）
		合　　計（人・率）	目標値50％達成 47,499（26.2）	50,595（27.9）	51,373（28.3）
	X線検査	要精検者数（人）	502		
		要精検率（％）	許容値11.0％以下 6.6		
		精密検査受診者数（人）	422		
		精検受診率（％）	許容値70％以上 目標値90％以上 84.1		
	検診	検診発見がんの者（がんの疑い）	161（48）		
		検診発見がん率（％）	許容値0.11％以上 0.34		
		陽性反応適中度（X線検査）	許容値1.0％以上 3.39		
		確定調査結果（確定癌数・率）	165（0.35）		
	子宮 頸 部 が ん 検 診	対　象　者　数（人）	121,933	121,933	121,933
		受　診　者　数（人）	30,310	32,723	33,292
		受　診　率（％）	目標値50％達成 24.9	26.8	27.3
		要精検者数（人）	351		
		判定不能者数（人）	23		
		要精検率（％）	許容値1.4％以下 1.16		
		精検受診者数（人）	284		
		精検受診率（％）	許容値70％以上 目標値90％以上 80.9		
		検診発見がんの者（がんの疑い）	6（90）		
		検診発見がん率（％）	許容値0.05％以上 0.02		
		陽性反応適中度	許容値4.0％以上 1.7		
		確定調査結果（確定癌数・率）	6（0.02）		
肺 が ん 検 診	対　象　者　数（人）		181,414	181,414	181,414
	受　診　者　数（人）		53,277	56,945	58,066
	受　診　率（％）	目標値50％達成	29.4	31.4	32.0
	要精検者数（人）		1,801		
	要精検率（％）	許容値3.0％以下	3.38		
	精検受診者数（人）		1,584		
	精検受診率（％）	許容値70％以上 目標値90％以上	88.0		
	検診発見がんの者（がんの疑い）		42（75）		
	検診発見がん率（％）	許容値0.03％以上	0.07		
	陽性反応適中度	許容値1.3％以上	2.1		
	確定調査結果（確定癌数・率）		50		
	上記のうち原発性肺がん数・率		48（0.09）		

区 分		国指標	令和４年度実績	令和５年度実績見込	令和６年度計画
乳がん検診	対 象 者 数 (人)		109,121	109,121	109,121
	受 診 者 数 (人)		16,933	19,015	19,570
	受 診 率 (%)	目標値50%達成	15.5	17.4	17.9
	要 精 検 者 数 (人)		1,014		
	要 精 検 率 (%)	許容値11.0%以下	5.99		
	精 検 受 診 者 数 (人)		966		
	精 検 受 診 率 (%)	許容値80%以上 目標値90%以上	95.3		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		71 (3)		
	検 診 発 見 が ん 率 (%)	許容値0.23%以上	0.42		
	陽 性 反 応 適 中 度	許容値2.5%以上	7.00		
	確定調査結果(確定癌数・率)		72 (0.43)		
大腸がん検診	対 象 者 数 (人)		181,414	181,414	181,414
	受 診 者 数 (人)		52,647	54,346	55,463
	受 診 率 (%)	目標値50%達成	29.0	30.0	30.6
	要 精 検 者 数 (人)		3,743		
	要 精 検 率 (%)	許容値7.0%以下	7.1		
	精 検 受 診 者 数 (人)		2,831		
	精 検 受 診 率 (%)	許容値70%以上 目標値90%以上	75.6		
	検診発見がんの者(がんの疑い)		118 (11)		
	検 診 発 見 が ん 率 (%)	許容値0.13%以上	0.22		
	陽 性 反 応 適 中 度	許容値1.9%以上	3.15		
	確定調査結果(確定癌数・率)		121 (0.23)		

※検診発見がんの者(率)：精密検査の結果、がんとして診断された者です。

() 内の数値は「がん疑いの者」の数を外数で計上。

※確定癌者(率)：精密検査の結果、がん及びがん疑いと診断された者について、鳥取県健康対策協議会が確定調査を行い、最終的に確定癌とされた者です。

(1) 令和4年度健康増進事業における肝炎ウイルス検査

区 分	対象者数	受診者数	受診率	HBs 陽性者	HCV 陽性者	HBs 陽性率	HCV 陽性率
肝炎ウイルス検査	210,599	3,999	1.9%	32	11	0.8%	0.3%

(精密検査)

区 分	要精検者数	精検受診者数	精検受診率	肝臓がん	肝臓がん疑い	がん発見率
肝炎ウイルス検査	43	24	55.8	0	0	0.00%

令和5年度実績見込み4,040人、令和6年度計画4,281人

(2) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査状況

(単位：人%)

区 分	健康指導 対象者	定期検査 受診者数	定期検査結果			
			慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	がん疑い
B型肝炎ウイルス陽性者	2,534	900	147 (16.3)	12 (1.3)	4 (0.4)	4 (0.4)
C型肝炎ウイルス陽性者	770	285	32 (11.2)	3 (1.1)	9 (3.2)	0 (0.0)